

千羽鶴に復興の願いを込めて、東日本被災地へメッセージ。

桑名の千羽鶴

きずな

「絆」

プロジェクト桑名

桑名の人たちを繋ぎ、東日本被災地の皆さまを繋ぎ、
そして日本中の皆さまを繋ぐ……
あなたが心を込めて折った桑名の千羽鶴の
一羽一羽が大きな力に変わります。

春の息吹と共に東日本被災地の皆さまの復興と笑顔が戻るよう、
2012年3月11日に東日本へ「メッセージ入りの桑名の千羽鶴」を届けます。
2012年1月末までにお近くの「千羽鶴回収BOX」に投函ください。
皆さまのご協力をお願いします。

■桑名の千羽鶴って？

桑名には、「桑名の千羽鶴」と呼ばれる連鶴があり、桑名市の無形文化財に指定されています。「桑名の千羽鶴」は、今から約200年前に長円寺の住職 魯綿庵義道によって考案され、一枚の紙から、2羽から最高97羽までの連続した鶴を作る方法で49種類残されています。

その中のひとつ「妹背山」は、2羽の翼と翼がピッタリと繋がり、2羽とも同じ方向を向いた仲の良い鶴です。



いもせやま
妹背山

皆さまに折っていただく連鶴は親子・恋人・夫婦の意味のある「妹背山」です。詳しくは、「妹背山の作り方」をご覧ください。

千羽鶴回収BOX設置場所

- 桑名市役所1F
- 桑名三川商工会
- 桑名市各公民館
- 桑名市総合福祉会館
- 多度・長島総合支所
- サンファール2Fサテライトオフィス
- 各地区市民センター
- 桑名商工会議所
- 桑名市各図書館
- 桑名市民会館
- 桑名市博物館

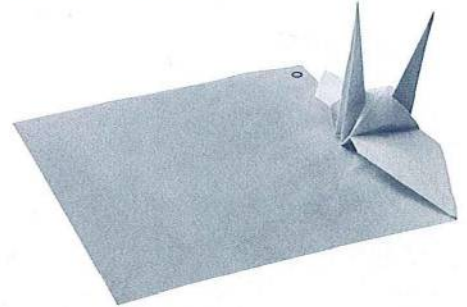
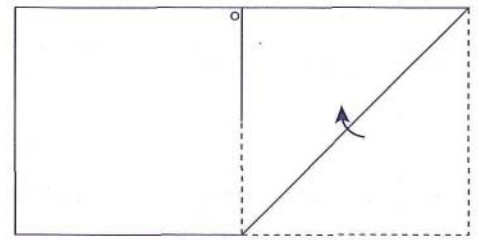
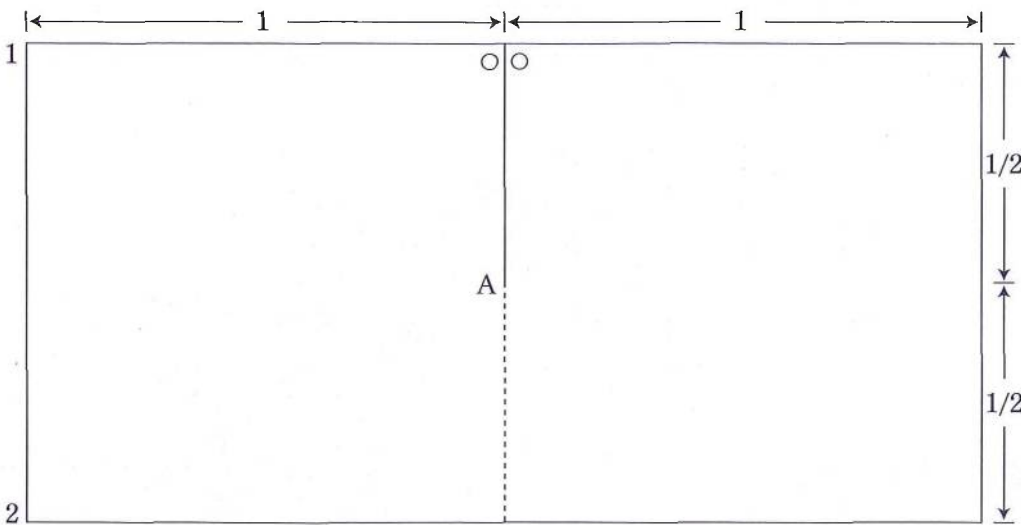
右記QRから
「妹背山の作り方」を
ご覧いただけます。



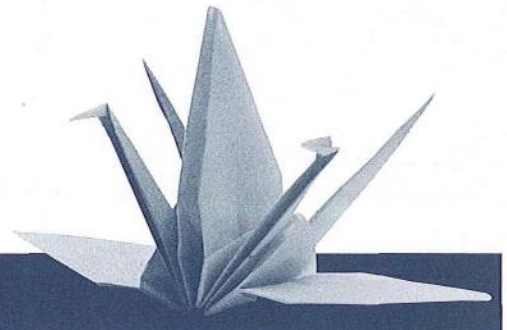
【主催】桑名の千羽鶴保存会 【事務局】桑名市博物館 ☎(0594)21-3171

【後援】桑名市・桑名市教育委員会・桑名商工会議所・桑名三川商工会・桑名市観光協会（順不同）

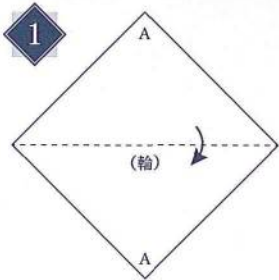
「妹背山」の作り方



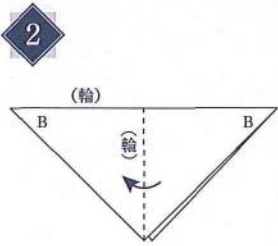
1. 用紙を図のように半分に折り、2分の1の所(A)まで切り込みを入れます。
2. 切り込みを入れた角(○印)に向かって三角形に折ります。
3. 後は、下の「一羽の鶴の折り方」のように、それぞれ鶴を折り、2羽が同じ方向を向くように、くちばしをつけ、出来上がりです。(○印がくちばしになります。)
4. 最後に、被災地にむけての暖かいメッセージを翼にお書きください。



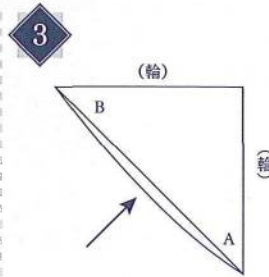
一羽の鶴の折り方



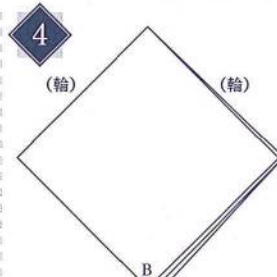
正四角形の紙を三角形に折る。(AとAを重ねる)



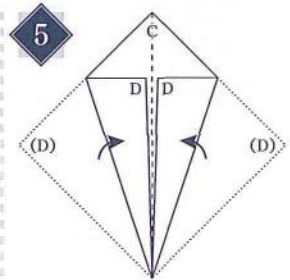
1をさらに半分に折る。(BとBを重ねる)



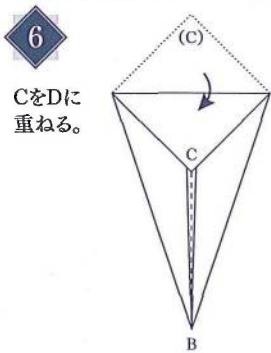
AB間に指を入れ、AとBを重ねて四角形を作る。



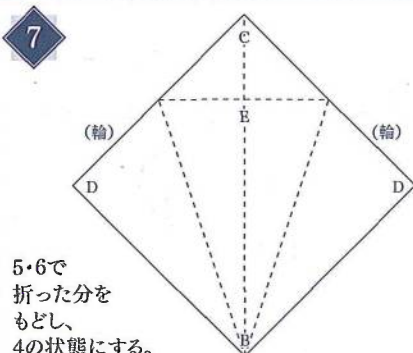
裏面も同じように重ねる。



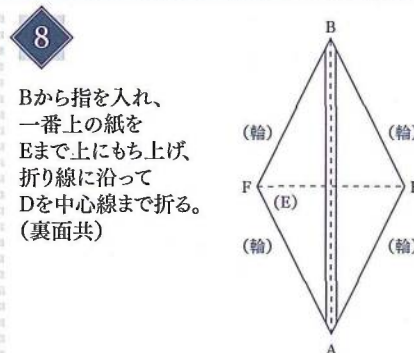
BCの中央線に向かってDを折る。(裏面共)



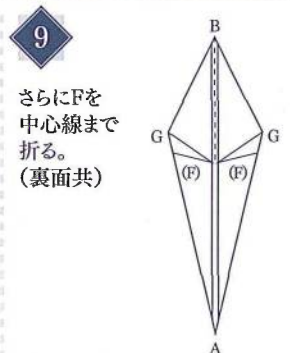
CをDに重ねる。



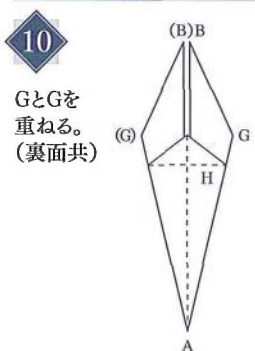
5・6で折った分をもどし、4の状態にする。



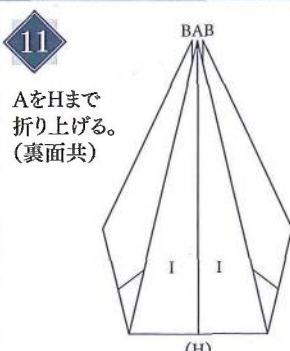
Bから指を入れ、一番上の紙をEまで上にもち上げ、折り線に沿ってDを中心線まで折る。(裏面共)



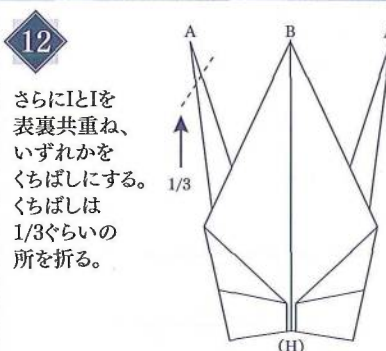
さらにFを中心線まで折る。(裏面共)



GとGを重ねる。(裏面共)



AをHまで折り上げる。(裏面共)



さらにIとIを表裏共重ね、いずれかをくちばしにする。くちばしは1/3ぐらいの所を折る。



Bを両方へひろげて翼にし、形を整える。